

徳守神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

当神社は聖武天皇の御代天平5年（733）の鎮座と伝えられているが、現在の津山市小田中の地に祀られていた。天文8年（1539）火災に遭い社殿を焼失し、再建された本殿は現在、境内摂社の住吉神社となっている。

慶長8年（1603）美作の国18万6500石の国主大名として入封した森忠政（森蘭丸の弟）が津山城を築くにあたり、現在地に移して津山城下の総鎮守とした。

現在の社殿は第2代森長継が改築したもので、県指定の重要文化財となっている。明治5年に県社に列せられた。氏子は津山市の中心部56町内に亘り、作州第1の大社である。例祭（秋祭）の御神幸は、供奉300人を越え、全長500メートル奥丁150人を要する神輿は、日本3大神輿の1つといわれる。節分祭の追儺行事も近隣に比を見ない盛儀である。

「徳守」の社号は、勅使として参向した清閑寺大納言藤原徳守の名に因むというが、定かではない。

境内末社の善神社（祭神 お花善神）は、津山藩森家の家老原十兵衛に仕えた美女お花が横死し、その霊を慰めるために祀られた社で、婦人の守り神として知られ、特に逆境にある女性に靈験あらたかである。

境内に赤穂47士の一人神崎与五郎則休の歌碑「海山は中にありとも神垣の隔てぬ影や秋の夜の月」があるが、神崎与五郎はもと津山藩士、徳守宮を深く信仰し、討ち入りにあたって徳守宮を拝したということである。



前の写真へ次

基本情報

神社コード 03001

神社名 徳守神社（トクモリジンジャ）

通称名

旧社格 県社

鎮座地 〒708-0047 津山市宮脇町5

電話番号 0868-22-9532

FAX番号 0868-22-2096

駐車場 無

御祭神 天照大日瑠女命

御神徳

主な祭典 10月第4日曜日：例祭
2月立春前日：節分祭
7月23日：夏越祭

宮司宅電話

URL <https://www.tokumori.or.jp/>

e-mail

特記事項

氏子地域 津山市（安岡町、桶屋町、下紺屋町、河原町、茅町、宮脇町、京町、元魚町、戸川町、細工町、材木町、堺町、山下、小性町、小田中（笠松、神田、新屋敷、西陵団地、西新座、西松原）、昭和町一丁目、昭和町二丁目、上紺屋町、新茅町、新魚町、新職人町、吹屋町、西今町、西寺町、船頭町、大手町、鍛冶町、坪井町、鉄砲町、田町、南新座、南町一丁目、二階町、美濃町、伏見町、福渡町、本町三丁目、本町二丁目）

交通アクセス

津山駅から北西へ約1km

神事一覧

神輿行事	祭礼日時：10月第4日曜9:00	文化財指定：有（市）	神事詳細
獅子舞	祭礼日時：10月第4日曜9:00	文化財指定：無	神事詳細
だんじり	祭礼日時：10月第4日曜9:00	文化財指定：無	神事詳細
追儼	祭礼日時：2月立春の前日19:00	文化財指定：無	神事詳細
夏祭	祭礼日時：7月23日19:00	文化財指定：無	神事詳細

[検索画面に戻る](#)

